

「犯罪と非行をなくすためには」

合志南小学校 6年 湯田 大和

ぼくは、犯罪、非行を防止するためには、友達、家族との会話などを増やすのがいいと思います。なぜなら、会話をして面白い話などをしていると楽しくなって悪いことなどをする気持ちがうすれてくると思うからです。他にも話していると、周りの人がその人の考えも知っていろいろな助言ができると思うからです。何か悪いことを考えているなら「だめだよ。」と言えるからです。そして何よりも、こどく感がうすれていくと思うからです。犯罪、非行などは、さびしさからきているのではないかと思います。万引きなども物が欲しいのではなく、誰かにかまってほしいという思いも少しはあるのだと思います。だから、1人も仲間はずしなどを出さず、みんなで学校でも全員で仲良くやっていくことが大切だと思います。この前、うちのクラスで1人、仲間はずしをされていました。今は解決しましたが、その子はぼくとは結構遊んだりしていたけど他の子に仲間はずしにされていたのを早めに気付いて早く止めさせておけばよかったと後悔していました。もうこんなことにならないように、早く気付くようにしたいです。

犯罪、非行をした人が更正するには、社会などがもっとそういう人達を受け入れることが必要だと思います。施設など出た後、成人ならば就職をしなければなりません。でも、前科などがあると、会社はなかなかやとってくれません。それは社会に「前科者は危険だ。また問題を起こす。」というへん見がしみついているからです。でも、なかなか受け入れないでいるとお金がなくなり、もうどうしようもなくなり、また、犯罪に走る可能性があります。会社も自分たちを守るために必死なのだと思います。でもそこで受け入れずにそのままにしておいたら、犯罪、非行は増えます。社会全体のみんなで協力して犯罪や非行をなくしていくのが大切だと思います。ほかにも、前科などがある人を差別、へん見などで苦しめるのは良くないと思います。そうやって苦しめることによってまた、犯罪や非行をしてしまうかもしれません。悪いことをしたのでその人も悪いですが、協力そして助け合って更正させていくことが大切だとぼくは思いました。

こどくを防ぐには、周りの人がいち早く気付くのがいいと思います。その人が「さびしい」と言えればいいのですが、それが言えない人もいるかもしれません。みんなでいっぱい遊んで楽しい気分になることで悪い気持ちはなくなると思います。

このように犯罪などは「さびしさ」「苦しさ」が原因でなるのが多いと思います。これからはみんなで手を取り合って生きていかなければならないでしょう。